



春季生活闘争討論集会

連合宮城 2024 春季生活闘争



連合宮城は以下のとおり、2024春季生活闘争を取り巻く情勢や課題、闘争方針の共有ならびに相互討論を目的に、連合宮城2024春季生活闘争討論集会を開催した。



- 開催日時 2024年1月23日(火)18時00分～19時30分
- 開催場所 ハーネル仙台2階 松島
- 開催内容 (1) 主催者あいさつ
(2) 2024 春季生活闘争を取り巻く情勢・課題について
連合総合政策推進局 労働条件・中小地域対策局
新 沼 かつら 局長
(3) 連合宮城 2024 春季生活闘争方針(案)について
連合宮城副事務局長 阿 部 祥 大
(4) 構成組織における要求方針ならびに決意表明
自治労、J E C 連合
- 参加人数 79名(内、女性4名[5%])



《2024スローガン》 みんなで賃上げ。ステージを変えよう！

冒頭、主催者あいさつとして大黒会長は「日本の労働環境(賃金)は先進国の中でも低位であり、アメリカの55%程度しかなく、この30年間で18万円しか上がっていない。2023春闘は30年ぶりの高水準となったが、中小企業において物価を上回ったところは2割程度しかなかった。今次闘争では、労務費を含めた適切な価格転嫁により、昨年を上回る賃上げが重要である。併せて2024年問題も含めた働き方の変革や女性活躍推進といった課題についても同時に進めていかなければならない。経済も賃金も物価も安定的に上昇する経済社会へとステージ転換をはかるため、継続的な賃上げを目指していく」と述べた。

つづいて、公共交通機関の影響により急遽WEBでの参加となったが、連合総合政策推進局労働条件・中小地域対策局の新沼局長より、今次春季生活闘争を取り巻く情勢や課題、闘争方針のポイントについて、各種指標を用いての比較やこれまでの推移、考え方の詳細について説明をいただいた。

質疑の中では、連合宮城杉山副会長(自動車総連)より、「インフレが進みすぎることでの貨幣の価値低下」について質問があるなど、理解を深める時間となった。

※(上記に対する回答)

日本の現状においては、まだまだそのステージに到達する段階ではないが、経団連に対し、マクロ経済運営と国民生活の向上に資する賃金決定のあり方について、研究を進めていかないか呼びかけているところである。

連合宮城における闘争方針(案)については連合本部に準じた水準となっており、連合宮城阿部副事務局長からは、この間の取り組みや「2024地域ミニマム運動」の結果、闘争スケジュールについて提起を行った。

各構成組織における要求方針と決意表明については、自治労・J E C 連合の2構成組織より受けた。

最後は、大黒会長の発声により、ガンバロー三唱にて締めくくった。

📷 写真で見る 2024 春季生活闘争「討論集会」

なて真上げ。スアーンを
宮城2024春季生活闘争討論集会



主催者挨拶 (大黒会長)



決意表明する岡本氏(左)と立花氏



連合本部 新沼局長



方針提起



質問する杉山副会長



ガンバロー三唱

仙台市に対し「政策制度要請」を実施！！

連合宮城は仙台市に対し、2023年政策制度要請を以下のとおり実施した。

○日 時：2023年12月5日(火) 13:00～13:15

○場 所：仙台市役所本庁舎3階 第一応接室

○出席者：[仙 台 市] 郡市長、天野局長、大村部長、高橋課長、上岡主幹

[連合宮城] 大黒会長、加藤副会長、北館副会長、西内副会長、鈴木副会長、佐竹事務局長、阿部副事務局長、菊池副事務局長

冒頭大黒会長は、コロナ禍のダメージや物価高の中、生活困窮者や低所得世帯への給付金や、福祉施設などへの光熱費等の助成に対し感謝するとともに、「人手不足に対する企業へのIT活用等の発信などスピード感ある対応をいただいている。連合も働く仲間が安心できるような環境を作っていきたい」と挨拶した。

郡仙台市長からは「コロナ禍後の経済活性化も始まっているが、世界情勢や気候変動・人口減少など様々な課題がある。なかなか賃金が上がらない中での物価上昇などもあり、安心した豊かな生活が実感できない。働く皆さんが、生きがいをもって活躍できるよう施策の改善や生活向上に努めたい」と挨拶があった。

その後、要請書の手交を行い、佐竹事務局長より市政に対する要請内容の主旨について説明し、郡市長から要請に対するコメントがあった。

要請各項に対する回答については、後日書面にて返答される。



大黒会長(左)より、郡仙台市長へ要請書手交

○仙台市に対する要請項目

- I. 「東日本大震災」を含む自然災害からの着実な復興・再生、今後の減災・防災対策の充実・強化
- II. 経済と雇用政策の推進ならびに地場産業・中小企業の持続的成長・発展に向けた政策強化
- III. すべての世代が安心して暮らせる社会の実現
- IV. 地域における医療・福祉政策
- V. 環境・エネルギー対策
- VI. 公共交通・運輸政策

連合宮城「2024推薦議員政策懇談会」を開催！！

連合宮城は、第18回定期大会において、「働くことを軸とする安心社会の実現」、「働く者・生活者を優先する政治・政策の実現」に向けた運動方針を確認している。

このコロナ禍においても、宮城県および仙台市に対し、震災からの復興、地域経済や中小企業の活性化、雇用安定と生活の再生に向けた政策制度等について、要請を継続し実施してきた。

コロナ禍が明け、暮らしは平時に戻りつつあるが、今後より一層の地域の発展、労働者・生活者の暮らしの安心安定のためには、連合宮城の政策実現強化や昨今の政治情勢、連合本部の対応・考え方等を踏まえ、連合宮城の政策制度の着実な前進が不可欠であり、昨年に引き続き下記のとおり連合宮城推薦議員との政策懇談会を開催した。

懇談会には総勢50名が参加し、連合宮城菊池副事務局長より「2023政策要請内容」の考え方等について説明いただくとともに、推薦議員からも県政や市政情勢について情報提供いただき、意見交換を行った。

また特別講演として、連合宮城が支援（2025年まで）を行っている特定非営利活動法人HEROの阿部様をお招きし、活動の概要等を説明いただくとともに、とくに「ヘッドネーション」の活動について、現状と課題について共有いただいた。

○開催日時：2024年1月30日(火) 16:00～17:00

○開催場所：ハーネル仙台3階 蔵王B

○出席者：連合宮城執行委員23名、連合宮城仙台地域協議会四役5名
連合宮城推薦宮城県議会議員 10名
連合宮城推薦仙台市議会議員 9名

○開催内容：開 会 連合宮城事務局長 佐竹 一 則
主催者挨拶 連合宮城会長 大黒 雅 弘
政党・政治団体代表挨拶

立憲民主党宮城県連副代表 坂下 賢 様

宮城県民社協会会長 吉川 寛 康 様

宮城県・仙台市への連合宮城2023政策要請内容について

連合宮城副事務局長 菊池 一 磨

情報共有・意見交換

特別講演「特定非営利活動法人HERO」の紹介と活動への協力要請

特定非営利活動法人HERO

c.producer 阿部 清 志 様

閉会挨拶 連合宮城副会長 北 館 和 彦



主催者挨拶 (大黒会長)



立憲民主党宮城県連 坂下副代表



宮城県民社協会 吉川会長



政策内容説明 (菊池副事務局長)



NPO法人HERO 阿部氏



NPO法人の活動について映像を視聴

連合宮城青年委員会『第33回定期総会』開催報告

連合宮城青年委員会は、2023年12月1日(金)14時30分からハーネル仙台において、『第33回定期総会』を開催し、代議員24名、委任代議員23名、特別代議員(地協青年委員会代表)1名(委任5名)、幹事10名中9名が参加し、議長に情報労連の曾根代議員を選出して進められ、2023年度活動報告ならびに2024年度運動方針および新役員体制を確認した。

主催者挨拶で畠中委員長は、「本総会も含め、コロナ禍における規制も緩和され、通常規模に近い要請に対し、参加・協力をいただき感謝申し上げます。青年委員会では、各種活動について幹事会で相談を重ね、2023春闘フォーラムでは、街宣行動や昨年に引きつづきWEBを併用、4年ぶりの屋外開催となったメーデー宮城県大会では行動委員として対応、また、女性委員会と合同企画のステップ・アップ・セミナーの開催や、4年ぶりに1泊2日で実行した環境フォーラムなど、コロナ禍における経験を活かしつつ実施内容を工夫し、学習だけではなく構成組織の枠を超えた交流も図ることができた。次年度も組織を超えた交流や仲間が集まれるよう取り組みを進めていく」と述べた。

また、総会終了後にはセミナーを設定し、労金運動の推進を含め、この間アンケートなどでいただいた「資産形成をテーマ」とした講演を開催した。



挨拶をする畠中委員長

◆総会

- 日時：2023年12月1日(金) 14:30
- 場所：ハーネル仙台4階 青葉
- 参加者：37名(事務局含む)
- 議案：第1号議案 2024年度青年委員会活動方針(案)
第2号議案 2024年度青年委員会役員選出(案)

◆セミナー

- 日時：2023年12月1日(金) 16:00
- 場所：ハーネル仙台4階 青葉
- 参加者：35名(事務局含む)
- 内容：若いころから始めよう！知って得する資産形成
- 講師：東北労働金庫 本店営業部次長 佐藤 怜氏
(宮城県統括アセットプランナー)

[2024年度連合宮城青年員会 役員体制] ※「新」…役員は再任だが、役職は新任

役職	氏名	構成組織	役職	氏名	構成組織
委員長	松長 拓朗	新 自治労	幹事	山崎 渉	新 電機連合
副委員長	鈴木 啓臣	新 UAゼンセン	幹事	笠原 弘平	新 J A M
事務局長	能崎 恵佑	新 私鉄総連	幹事	安倍 良季	新 J P 労組
事務局次長	鎌田 豪	新 情報労連	幹事	佐藤 駿生	新 電力総連
幹事	瀬戸 陽介	新 自動車総連	幹事	富山翔太郎	新 全労金



連合宮城女性委員会『第34回定期総会』開催報告

連合宮城女性委員会は、4年ぶりとなる対面形式で『第34回定期総会』を開催した。

議長団にはUAゼンセンの笠原知子代議員を選出し、進行を務めていただいた。

女性委員会を代表し照井委員長は、「コロナ感染症拡大前の生活に戻ったわけではないが、以前のような活動が再開できるようになり、非常に嬉しく感じている。性別・年齢・国籍・障害の有無・就労形態などにかかわらず、誰もが多様性を認め、互いに支えあうことのできる職場、社会の実現を目指し、より一層の活動を展開していきたい」と述べ、「3.8国際女性デー宮城県行動」や「宮城労働局雇用環境・均等室への要請行動」、「連合全国一斉労働相談ホットライン」での女性委員会の対応などについて触れ、この1年間の活動の思いについて挨拶を行った。

連合宮城からは大黒会長より挨拶をいただき、女性委員会の活動への期待と同時に、今総会で退任する照井委員長の11年間の活動に対し労をねぎらった。

総会では2023年度の活動経過報告、2024年度の運動方針と役員体制について承認された。



挨拶をする照井委員長

- 日時：2023年12月8日(金) 15:30
- 場所：ハーネル仙台2階 松島A
- 参加者：代議員総数 75名
出席代議員数 32名
委任状 23名
合計 55名
役員総数 7名
出席役員 6名

- 議案：第1号議案 2024年度女性委員会活動方針(案)について
第2号議案 2024年度女性委員会役員選出(案)について



[2024年度連合宮城女性委員会 役員体制]

役職	氏名	構成組織
委員長	宮川 則子	新 J P 労組
事務局長	佐藤 珠理	新 情報労連
事務局次長	畠山 南	新 電力総連
幹事	笠原 知子	新 UAゼンセン
幹事	清野 まりあ	再 自治労
幹事	小畑 ユミ	再 自動車総連
幹事	佐藤 有梨	新 全労金

※「新」…役員は再任だが、役職は新任